

岩手県立久慈工業高等学校



創立 昭和55年 4月1日

開校記念日 毎年 5月4日

所在地 〒028-8201 岩手県九戸郡野田村大字野田第26地割62番17

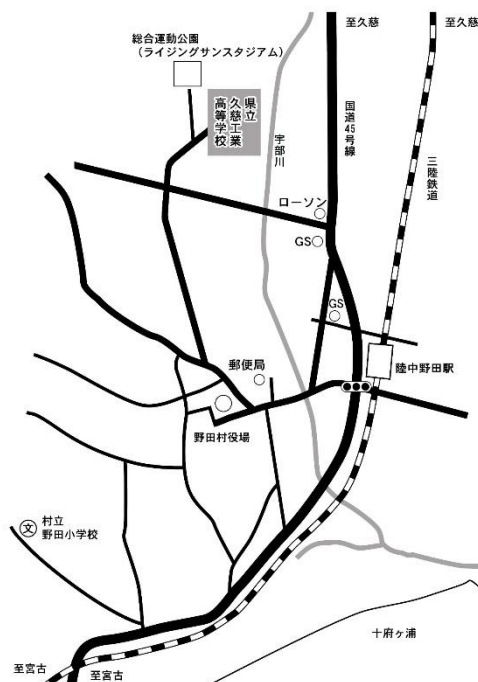
電話番号 0194-78-2123

FAX 0194-78-4190

HP <http://www2.iwate-ed.jp/kut-h/>

交通機関 三陸鉄道北リアス線 陸中野田駅下車徒歩20分

校長名 藤原 徳久



1 設置学科等

課程	学科名	設置年度	令和3年度生徒数		
			1年	2年	3年
全日制	電子機械科	平成4年	13名	8名	14名
	建設環境科	平成19年	10名	11名	17名

2 本校の目指す学校像

本校は、工業教育を中心に、部活動、学校行事、資格取得など充実した教育活動をとおして、「元氣な挨拶と思いやりを心がけ、心身を鍛え合う生徒」を育て、生徒一人一人に力を付ける「生徒の輝く姿が見える楽しい学校」を目指しています。

3 令和4年度の入学者選抜方法について

(1) 推薦入学者選抜（令和4年度）

学科名	全学科（電子機械科、建設環境科）	定員	各科40名
募集定員	各科10%（各科4名）		
推薦基準	<p>次の1～4の条件を満たした上で、5の条件に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 本校の教育を受けるに足る能力・適性をもつ者 基本的な生活習慣を身に付けている者 志願理由が明確かつ適切であり、入学後の意欲的な高校生活が期待される者 ものづくりへの興味・関心が強く、工業に関する機械操作や製作実習に意欲がある者 次のいずれかに該当する者 ただし、当該の活動を義務づけるものではない。 なお、(1)～(6)は応募資格Aに該当する。 <p>(1) スポーツ活動 : 県大会出場または地区大会3位以上の成績で主力選手として活躍した者、または、それと同等の実力が認められる者</p> <p>(2) 文化・芸術活動 : 県大会出場、各種コンクール入賞等の実績がある者</p> <p>(3) 生徒会活動 : 生徒会役員、各種委員長を務めた者</p> <p>(4) ボランティア活動 : 継続的に活動した実績がある者</p> <p>(5) 資格 : 資格等を取得している者</p> <p>(6) その他 岩手県スポーツ特別強化指定校の指定を受けている本校ウエイトリフティング部に入部を希望し、3年間活動する強い意志をもち、次のいずれかに該当する者</p> <p>ア 運動部に所属し、県大会で主力選手として活躍した者、またはそれと同等の実力が認められる者</p> <p>イ 新体力テストの成績がA段階である者</p> <p>ウ 現在「いわてスーパーキッズ」に認定されている者</p> <p><本校にある部活動></p> <p>運動部：硬式野球、ウエイトリフティング、ソフトテニス、ラグビー、バスケットボール、卓球、柔道</p> <p>文化部：吹奏楽、美術、料理、工学研究</p>		
検査内容	<ol style="list-style-type: none"> 面接 個人面接（10分） 作文 提示されたテーマについて600字以内で自分の考えをまとめる（50分） 		

選抜方法	1 調査書 (180 点) : 9教科の評定合計 (1年 45 点、2年 45 点、3年 90 点) 2 実績 (170 点) : 調査書及び志願理由書に記載されている実績 3 面接 (100 点) 4 作文 (50 点) <合計 500 点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する。
一次選考の有無	実施しない

(2) 一般入学者 (令和4年度)

学科名	定員	選抜順序・割合 (%)			作文	適性検査	傾斜配点
		学力検査：調査書 A選考=5：5					
		I	II	III			
電子機械	40名	A100			無	無	無
建設環境	40名	A100			無	無	無

4 特色ある教育活動

(1) 学習活動

- ア 電子機械科、建設環境科では充実したコンピュータ設備等を使用して、実習・製図・課題研究など多様な授業により生徒個人の適性・能力を伸ばします。
- イ 2年生では、久慈管内企業において3日間の就業体験（インターンシップ）を実施し、職場体験をとおして職業観を育成し、将来の進路の決定に役立てます。
- ウ 個々の進路目標実現を目指し、進路希望に対応する選択授業及びコース制を実施します。
電子機械科では3年生から「機械設計・自動車工学」または「電子回路・電子計測制御」の科目を選択して学習します。
建設環境科では2年生から「環境土木コース」または「建築コース」を選択して各専門分野を学習しています。
- エ 各学科の特色を生かして、各種資格や検定の取得に力を入れています。
(パソコン利用技術検定、3級技能士検定[普通旋盤作業・シーケンス制御]、2級土木施工管理技術検定、測量士補、建築施工管理技術検定、各種危険物取扱者、計算技術検定、漢字能力検定、英語技能検定など。)
- オ 高校の魅力化促進事業実施校として、地域連携による教育活動の充実により地域理解を深め、地域の将来を担う専門技術を身につけた人材の育成を目指しています。

～ 久慈工業高校の魅力アッププロジェクト ～ (R3.10.25版)

久慈工業高校では「久慈工業高校の魅力アッププロジェクト」として、地域連携による地域の将来を担う専門人材の育成を目指しています。

1年生ではのど塩工場、2年生では久慈琥珀の見学に行っています。

3年生では地域人材の活用した専門技術の深化と地域貢献の意識の醸成を目指し、課題研究に取り組んでいます。

【電子機械科3年 プログラミング出前授業】

電子機械科では授業で学んだ技術を生かし、地域に貢献するため、中学校でプログラミング出前授業を行っています。

授業では、パソコンやマイコンを使用し、プログラミングの基礎から応用編としてLED点灯制御まで行います。身近にある機械がどのようにプログラミングされ、制御されているかを実際に体験しながら理解してもらおうと生徒たちが工夫しながら中学生に教えます。



【建設環境科3年 ドローン空撮実習】

建設環境科環境土木コースの課題研究では地元企業（宮城建設株式会社）の指導を受け、最先端技術であるドローンの飛行操縦や飛行測量の技術を学びました。

学んだ技術を生かし地域に貢献するため、保育園児に喜んでもらうと保育所の空撮を行いました。



1 地域の教育資源を活用した取組

1年生 地域理解と深い学び

①のだ塩工房の見学・塩づくり体験 (R2.10.14)

野田村に古くから伝わる「のだ塩」の製造工程や歴史を学んだ。実際の塩づくりも体験し、村の伝統産業について理解を深めた。

アンケート結果



2年生 地域産業と工業技術

②琥珀博物館の見学・琥珀探掘体験 (R2.9.28)

久慈琥珀について見学・探掘体験をし、授業で学んだ知識や工業技術などの技術が現場でどのように生かされているかを学んだ。

アンケート結果



3年生 技術の深化と地域貢献

③ 玄關掲示板の製作

村総合運動公園野球場の玄関掲示板を製作し寄贈した。

④ マスコットキャラの3次元模型

マスコットキャラを3次元で設計、3Dプリンターで製作し寄贈。

⑤ 木製いす・ベンチの製作

新生児童を記念椅子・村総合運動公園アニスコートのベンチを作成し寄贈。

⑥ フェイスシールドの寄贈

3Dプリンターで製作したフェイスシールドを久慈市・野田村へ寄贈。

⑦ 建築展

建築コースの課題研究作品や高習作品を中心に久慈市内で展示会を実施。

⑧ 部活動等の活躍・地域連携

ウエイトリフティング部 全国通信総体 同級戦大89kg級2位・依藤新乃介102kg級超

⑨ 選手賞はばたき賞受賞 田代 航大

バスケットボール部 久慈中・長内中と合同練習・練習試合で技術指導

④ マスコットキャラの3次元模型

マスコットキャラを3次元で設計、3Dプリンターで製作し寄贈。

⑥ フェイスシールドの寄贈

3Dプリンターで製作したフェイスシールドを久慈市・野田村へ寄贈。

⑦ 建築展

建築コースの課題研究作品や高習作品を中心に久慈市内で展示会を実施。

⑧ 部活動等の活躍・地域連携

ウエイトリフティング部 全国通信総体 同級戦大89kg級2位・依藤新乃介102kg級超

⑨ 選手賞はばたき賞受賞 田代 航大

バスケットボール部 久慈中・長内中と合同練習・練習試合で技術指導

⑩ 久慈地域生徒指導推進協議会別力賞受賞 田代 航大 文丸 陸太

バスケットボール部 久慈中・長内中と合同練習・練習試合で技術指導

⑪ 連携に向けた意見交換会 (R2.11.12)

野田村・久慈工業高校を守り育てる会・村教育委員会と次年度の事業や要望について意見交換を実施。

企業との連携や地域人材の活用など

⑫ 復興教育講演会

地域人材を活用し、震災当時の状況や、その後の活動についてお話を聞いた。

⑬ 構築点検実習

県上整備科と協働し、新生児童を記念椅子・村総合運動公園アニスコートのベンチの点検作業を実施。

⑭ 地域理解職員研修

久慈市郡吏民協賛科長を招き職員の家内・秋野の歴史を学ぶ機会を設け、地域の歴史や産業について研修した。

⑮ 資格取得用機材の提供

県電気工業会工業組合から電気工事士試験の練習用の資料の提供を受けた。

⑯ 産産木材を活用した実習

野田村から提供いただいた材産材材を使い製作した木製いすを野田村児童館へ寄贈。

⑰ 積極的な情報発信活動

報道機関等への情報提供
新聞掲載 38件
テレビ放送 5件
のどくに広報等掲載多数

⑱ プレゼンや資料の改善

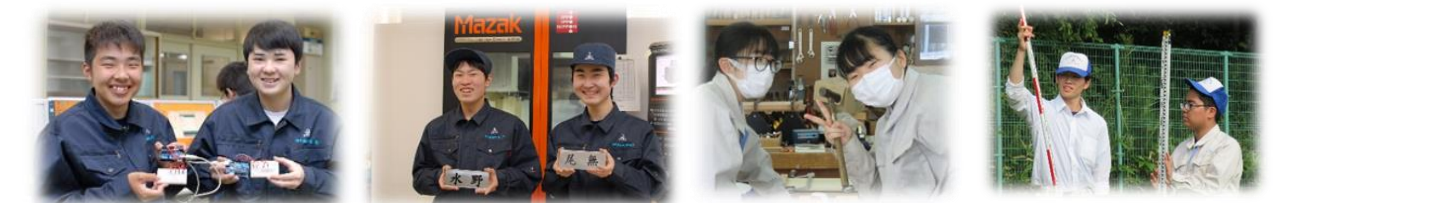
生徒の意見を取入れ学校紹介プレゼンを改善
・キャンパスライフやQ&Aなど資料を作成

⑲ 学校ホームページをリニューアル

高校説明会で技術系アピール
各中学校で行われる高校説明会、工業技術のアピールのためホームページなどを改善

⑳ 中高連絡会の改善

学校紹介内容を強化して学校をアピール



(2) 特別活動等

文化祭(久慈工祭)や校内体育大会を実施しています。運動部は、硬式野球部、ラグビー部、ウエイトリフティング部、卓球部、ソフトテニス部、柔道部、バスケットボール部があり、特に、ウエイトリフティング部はインターハイ、国体等の全国大会で入賞者を多数輩出しています。文化部は、美術部、吹奏楽部、料理部、工学研究部があります。

また、図書委員会による小学生読み聞かせ活動や、東京オリンピック2020聖火リレーボランティアへの全校生徒参加など地域貢献に積極的に取り組んでいます。



5 校長からの一言

中学生の皆さん、本校は工業教育を専門とする高校です。昭和 55 年に県北沿岸地区唯一の工業高校として創立され、地域とともに歩みながら、令和 2 年度に創立 40 周年を迎えました。

学科は、電子機械科、建設環境科を設置しています。それぞれの特色を生かした専門教育の学びを通じて、自分を成長させていくことができます。また、部活動も盛んで全国大会に連続出場しているウエイトリフティング部をはじめ運動部・文化部ともに充実した活動を行っています。

在学中に磨いた工業の確かな専門力を武器に進路希望を達成しています。就職は企業の手厚い支援に支えられ、進路決定率は 11 年連続 100% と圧倒的な強さを誇っています。工業系の 4 年制大学や短期大学校への進学も増加してきています。

近年、技術革新の進歩により女子生徒の採用を求めている企業が大変増えてきています。「我こそは」という女子中学生の皆さん、是非本校でチャレンジしてください。

久慈工業高校は、3 年間の学校生活を通じて学力と人間力を身に付け、卒業後は立派な社会人として活躍できる人材の育成を目指しています。工業技術を身に付け、地域の発展に貢献したいと考えている中学生の皆さん、本校で自分の未来を切り拓きませんか。

本校の日常の活動や生徒の様子をホームページで随時お知らせします。引き続きご覧ください。

6 必要経費について

新入生（令和 3 年度入学生の場合）

■入学料 5,650 円

■一括諸納金・各科教材費 50,860～51,468 円（学科による）

■教科書・体育用具 38,448～39,353 円（学科による）

■制服購入 男子 69,000 円（内訳：制服上下 1、替えズボン 1、半袖開襟シャツ 2、バッジセット 1）

女子 67,500～77,700 円（内訳：ブレザー・ベスト・スカート・ネクタイ各 1、バッジセット 1）

※令和 3 年度以降の入学生に対し、久慈工業高等学校守り育てる会より制服購入費用の一部（上限 3 万円）の助成が受けられます。

■諸会費（PTA 会費・部活動後援費など）

口座振替により 4 月から翌 1 月までの年 10 回（1 回当たり 7,410 円（年額 74,100 円））

7 公立高等学校就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

(1) 平成 26 年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。

(2) この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。

(3) 一定の所得未満とは、保護者等の所得について、以下の算定式により計算した額が、30 万 4,200 円未満の場合です。（年収目安約 910 万円未満）。

【算定式】課税標準額（課税所得額）× 6% － 市町村税の調整控除の額

(4) 手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度（新制度）について」をご覧ください。http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm

【参考】県立高校授業料・通信制受講料

全日制（月額）9,900 円 定時制（月額）2,700 円 通信制（1 単位）190 円